

概要版（素 案）
岡山市水道事業経営計画

2027～2036

令和9年(2027)3月

概要版

ゆるぎない安心と信頼の追求
岡山市水道局
Okayama City Waterworks Bureau

01 岡山市水道事業経営計画とは

『岡山市水道事業経営計画』とは、持続可能な水道を守るために、これから10年間の岡山市の水道事業がどんな姿を目指し、どのようにして実現するかをお客さまと共有する大切な計画です。



■ 位置付け

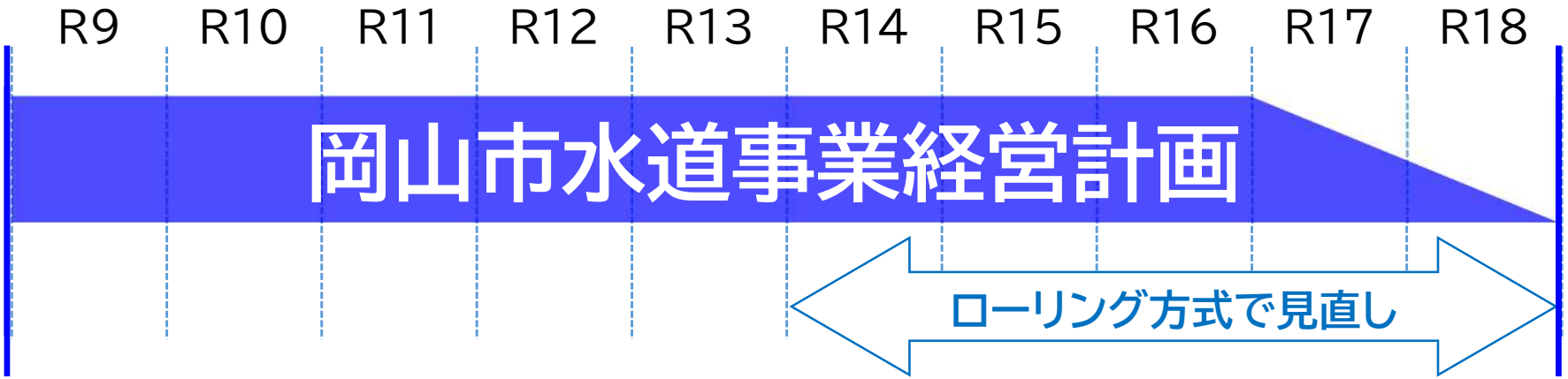
前計画である『岡山市水道事業総合基本計画』を継承しつつ、『岡山市第七次総合計画』との整合性を図り、国の関連計画である『水道事業ビジョン』及び『経営戦略』に位置付けます。

関連計画

- ◆ 岡山市第七次総合計画
  長期構想、前期中期計画
- ◆ 国の関連計画
  『水道事業ビジョン』　：国土交通省
  『経営戦略』の策定要請：総　務　省
- ◆ 岡山市水道事業総合基本計画
  アクションプラン前期編、アクションプラン後期編

■ 計画期間

令和9(2027)年度から令和18(2036)年度までの10年間とします。



02 事業を取り巻く環境

岡山市の水道事業が抱える課題とは ？

水道施設等の経年化

■ 岡山市の水道管の総延長は、4,398km

40年を超えて使われている水道管は年々増え、令和7年度末で1,407kmとなり、今後も増える見通し。



▲老朽化した水道管



岡山市の水道管総延長4,398㎞は、
札幌市から那覇市の往復に相当

古い水道管は、破損、漏水の可能性があり、いつか断水することも。

災害への備え

令和6年能登半島地震では、浄水場などの急所施設が被災して、長期間の断水となりました。

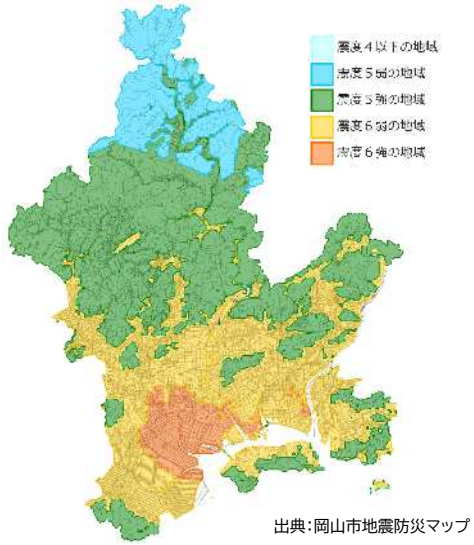
南海トラフ地震では、岡山市で最大震度6強の揺れが想定されており、水道施設の大きな被害が懸念されます。



▲平成30年7月豪雨で被災したポンプ場



▲令和6年能登半島地震で被災した水道管

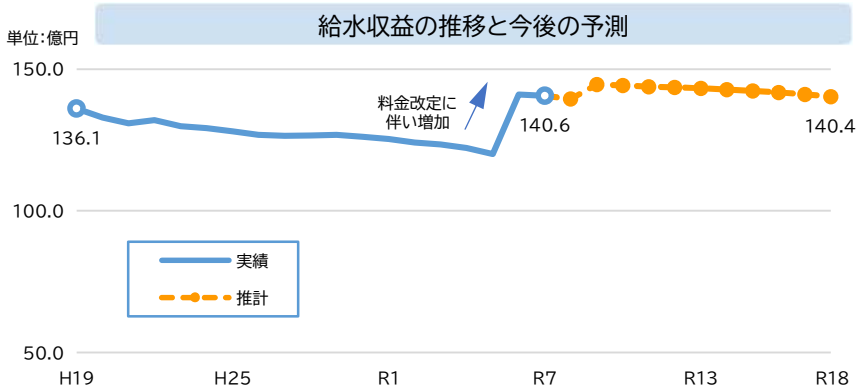


出典：岡山市地震防災マップ

▲想定地震における震度分布

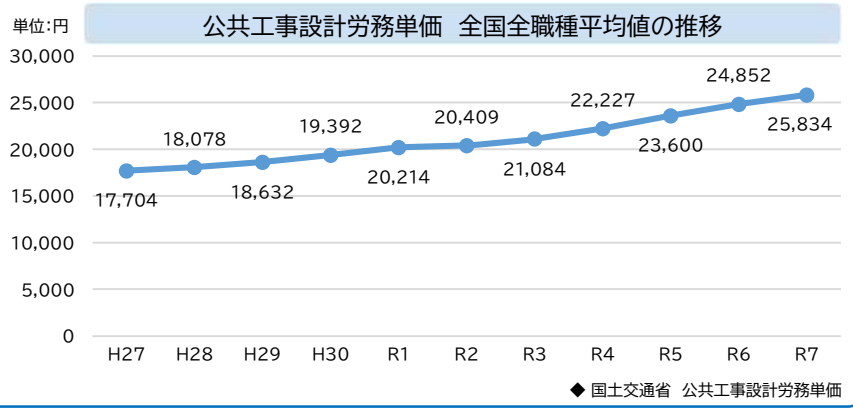
給水収益の減少

水道事業は、原則としてお客さまからいただく水道料金（給水収益）で事業を行っています。
近年、節水意識の高まりなどを受けて水需要が縮小しており、給水収益も減少傾向にあります。



事業費の高騰

物価高騰は、水道管や水道施設の工事で使用する材料など、工事費の増加に直結しています。また、建設業界における人手不足も重なり、労務単価も上昇しています



水源・水質の変化

気候変動の影響により雨量が大きく変動し、渇水が発生しています。
また、一部の地下水からは水質基準値内ではありますがPFASが検出されており、水道水質の安全性に関心が高まっています。

職員構成の変化

岡山市水道局職員の年齢構成は、50歳以上が全体の45%、40歳以上では66%を占め、技術力の低下や人手不足の恐れがあります。

03 基本理念と基本方針

岡山市水道局がめざす未来の姿！

■ 基本理念

『ゆるぎない安心と信頼の追求』

岡山市の水道は、明治38年（1905）から120年以上一度も断水することなく、生活や事業に欠かせないライフラインとして岡山市の発展を支えてきました。

これまで、市民の皆様と積み上げてきた『安心と信頼』を『ゆるぎない』ものとし、さらに「追求」することで、安全安心な水道水を安定して供給し、次世代に岡山市の水道を繋いでいきます。

■ 基本方針

基本理念を実現するための3つの考え方

■ 基本施策

基本方針ごとの10の基本施策

基本方針 安全

安全安心な水道水の供給

01 水質管理体制の充実　02 水質変化への対応
03 水質保持の取組

誰もが安心して、飲むことができる安全な水道水を供給します。

基本方針 強靱

水道施設の強靱化と暮らしを守る安定供給

04 更新と耐震化の推進　05 維持管理の強化
06 安定した水源の確保　07 危機管理対策の強化

災害に強い強靱な水道を構築し、市民生活を守るため水道水を安定して供給します。

基本方針 持続

お客さまの信頼と持続的な経営基盤の構築

08 お客さまとのつながり　09 経営基盤の構築
10 環境に配慮した事業運営

120年以上の歴史のある岡山市の水道水を将来世代へ着実に引き継ぎます。

04 今後、重要となる施策や取組は

岡山市水道局は“これから”どうしていく！？

安 全　水質に応じた対応で、安全でおいしい水道水を供給します。

定期的な水質検査を実施し、新たな水質汚染物質が検出された場合は低減化対策、水源切替などにより対応します。

- ■ 国より厳しい『基準』で、蛇口での水質とおいしさを確保
- ■ 適正な水質検査を実施し、結果をお知らせ



▲水質検査



▲活性炭によるPFAS除去設備
（金川取水場）

強 靭　水道施設を更新、耐震化します。

令和6年能登半島地震の教訓を踏まえ、“水を作る”浄水場や“水を貯める”配水池などの急所施設といわれる水道施設を更新・耐震化します。

	R9	R18
■ 浄水施設耐震化率	9.1%	97.3%
■ 配水池耐震化率	64.7%	70.7%



▲三野浄水場更新工事



▲耐震化された配水池
（矢原第2配水池）

強 靱　重要施設に接続する管路の耐震化に取り組みます。

広域避難所、市役所、病院等の重要施設に接続する管路の耐震化に取り組みます。

■ 重要施設配水管路の耐震適合率

R9	R18
73.0%	90.0%


▲基幹管路耐震化工事（開削工法）


▲基幹管路耐震化工事（推進工法）

持 続　利便性の向上と経営の効率化にさらに取り組みます。

広報活動やニーズの把握に取り組み、デジタル技術を活用したサービスの改善や業務の見直しなど経営効率化を推進します。

■ 水道に関心を持っていただける広報活動

■ 業務改善による、サービス維持・向上と財源の両立


▲浄水場見学


▲工事見学会

持 続　職員研修を充実し、組織力の強化を図ります。

将来の厳しい経営環境を見据え、多様な研修を実施し、将来にわたり安定した水道水を提供できる人材の育成に努めます。

■ 多様な分野にわたる体系的な研修の実施

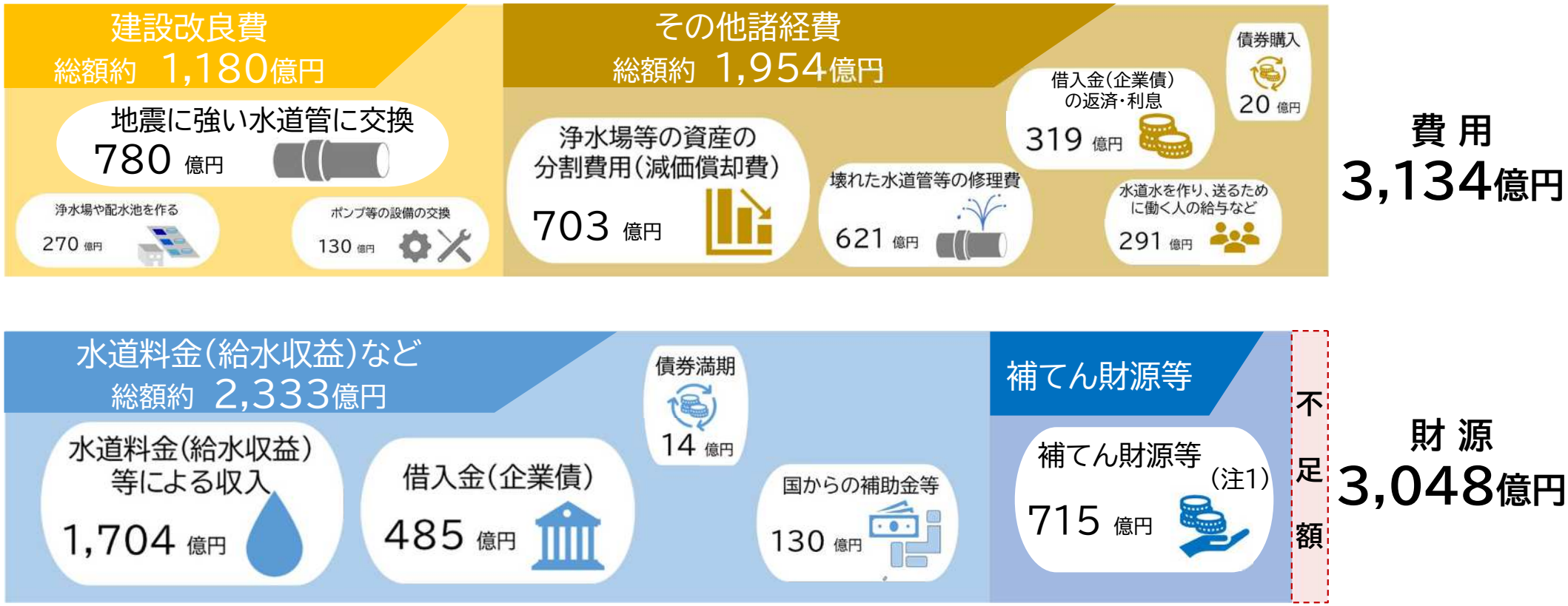

▲応急給水研修


▲維持管理研修

05 今後10年間の収支は

安全安心な水道水を届けるために必要な費用とその財源は？

■ 費用と財源



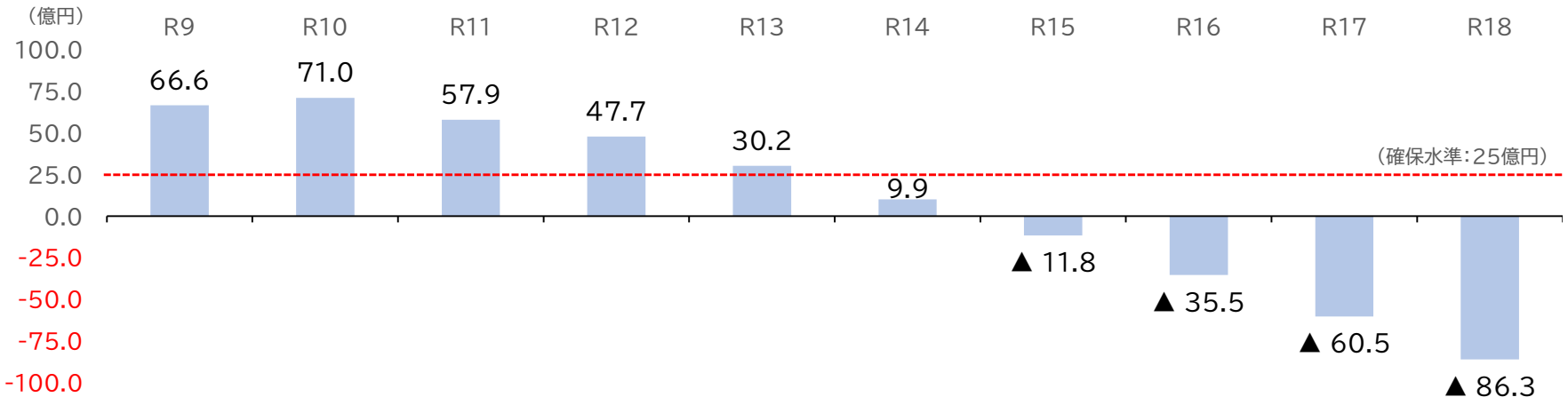
（注1） 現金支出を伴わない、将来の設備更新・修繕・買い替えなどに充てることができる資金

10年間の資金収支表

（単位：百万円）

		R9 (2027)	R10 (2028)	R11 (2029)	R12 (2030)	R13 (2031)	R14 (2032)	R15 (2033)	R16 (2034)	R17 (2035)	R18 (2036)
収益的収支	収益的収入	17,297	17,251	17,195	17,152	17,094	17,033	16,967	16,898	16,810	16,706
	収益的支出	15,487	15,808	16,376	16,815	17,244	17,575	18,055	18,380	18,591	18,775
	差 引	1,810	1,443	819	337	▲ 150	▲ 542	▲ 1,088	▲ 1,482	▲ 1,781	▲ 2,069
資本的収支	資本的収入	5,538	6,291	7,337	6,289	7,090	6,943	6,566	6,053	5,595	5,198
	資本的支出	12,225	13,441	15,982	13,979	15,261	15,171	14,460	13,829	13,271	12,742
	差 引	▲ 950	▲ 1,202	▲ 2,327	▲ 1,356	▲ 1,600	▲ 1,492	▲ 1,080	▲ 889	▲ 718	▲ 515
単年度資金		860	241	▲ 1,508	▲ 1,019	▲ 1,750	▲ 2,034	▲ 2,168	▲ 2,371	▲ 2,499	▲ 2,584

内部留保資金の見通し



令和14（2032）年度には、内部留保資金25億円を下回る見込みのため、一層の経営努力と財源確保策が必要です。


ゆるぎない安心と信頼の追求
岡山市水道局
Okayama City Waterworks Bureau